



東近江市は、鈴鹿の山々から湖東平野を経て琵琶湖まで繋がる豊かな自然に恵まれ、近畿最大の耕作面積を有します。この広大な大地では、水稻を中心に野菜、果樹、畜産など地域の特色を生かした多様な農業が、先人たちのたゆまぬ努力によって育まれてきました。この恵まれた自然と農業の営みを礎に、風土を生かし、みんなで育て未来につなぐ豊かな農業の実現に向けた取組を積極的に進めていく必要があります。

持続可能な農業を次世代に継承していくには、地域の農家・消費者・行政が共通した認識のもと、有機農業をはじめとする環境に配慮した農業の普及を図ることが重要です。

東近江市は、環境にやさしい農業と豊かな暮らしの実現を目指し、未来を担う子どもたちが誇りを持てる地域社会の実現に向け、「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和8年4月1日

東近江市長 小椋正清

